

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 創政会

報告者： 坂本 義明

| | |
|---|------------------------------|
| 実施場所：滋賀全国市町村国際文化研修所 | 実施日：平成 30 年 1 月 17, 18, 19 日 |
| <p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>●庄原市の厳しい財政状況を聞くたびに、財政改革を早急に行うべきであると強く思う。財政改革について、おおまかなイメージは出来ており、概要については理解できているものの、具体的に何をどこから着手して、実行していくのがよいのか、研修に参加することで他自治体の事例を参考にしたいと考える。</p> | |
| <p>■参考とすべき事項</p> <p>●人口規模は多いが、庄原市と財政状況のよく似た市が事例に挙げられていた。（合併により重複する施設、重なる補助金、合併前から未着手となっていた補助金の整理など）庄原市でも、聖域はないと思い、早期の財政改革実行が必要であると考え。夕張市のように、毎年住民が 2 割も転出していってしまえば「町」としての体を成せなくなってしまう。</p> | |
| <p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>●財政状況に改善の余地が見込めない施設（例えては失礼だがウィル西城など）や、条件改善の見込めない交渉（田園文化センターの借地料）など、そうそうに交渉を進めていくべきである。 未利用の財産である施設は早急に全国に発信して無料で貸与してでも人を呼び込むくらいの思い切った政策が必要となってくるものと考え。 現在の庄原市において、財政改革は待たなしの状況になっていると思う。</p> | |

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。